

討論会

『災害とソーシャルワーク』

3・11 東日本大震災の経験を踏まえて

さきの東日本大震災では、災害ボランティアの派遣・受け入れのコーディネートのみならず、ソーシャルワークとケアワークの在り方が問われました。また、医療の「DMAT」と同じように、SW サイドにおいても例えば「DSCAT」(Disaster Social Care Assistance Team) のような活動が必要であることも明らかとなりました。“生活のしづらさ” が集中的に現れる災害時には、ソーシャルワーク機能もまた集中的に必要となります。これらを踏まえ、単なる“被災地支援報告会”ではなく、被災者に寄り添うソーシャルワーク展開について議論を深めます。

とき **2015.3.21** (土) 13時～17時

会場 (公財) **テクノエイド協会 会議室**
(東京・飯田橋セントラルプラザ4階)

参加費・申込不要

< プログラム >

- ◆ **基調講演** 『災害とソーシャルワーク ～3・11 東日本大震災の経験を踏まえて～』
大橋 謙策 SCS 従事者研究協議会代表・東北福祉大学大学院
- ◆ **基調報告** 『災害ソーシャルワーク研修カリキュラムの開発』
大島 隆代 浦和大学総合福祉学部
- ◆ **シンポジウム** 『東日本大震災におけるソーシャルワークの展開』
シンポジスト 元持 翠 氏 岩手県大槌町地域包括支援センター
鶴 幸一郎 氏 宮城県女川町保健センター
笹岡 眞弓 氏 (公社) 日本医療社会福祉協会災害支援チーム統括責任者・文京学院大学
コーディネーター 牧里 每治 日本地域福祉学会副会長・関西学院大学
- ◆ **まとめ** 白澤 政和 SCS 従事者研究協議会副代表・桜美林大学大学院

主催：ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 (SCS)

事務局：一般財団法人社会福祉研究所 電話：03-5579-8385 E-mail：scsmm@jewel.ocn.ne.jp